

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 川内森の里
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県薩摩川内市中郷町
記入者名 (管理者)	坂下 澄子
記入日	平成 21 年 12 月 15 日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスという理念を作りあげて掲示している	○	地域密着型サービスとしての理念を作りあげ掲示し、日常生活に生かしている
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有する為に、毎日の生活を確認し合い、取り組む様に気をつけている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	当施設の理念に基づいて、家族や地域の方々との交流を大切にしている	○	家族や地域の方々との交流を大切に、いつでも馴染みやすい環境作りに今後も努めたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域との交流は、難しいが気軽に立ち寄れる環境に努めている	○	地域住民との運営推進会議や地域のイベントの参加等で、実践を伝えている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小学校の運動会・文化祭に参加したりし、地域との交流を計っている	○	今後も可能な限り地域の方との交流が出来る様、行事等に参加したい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	当施設での利用者への支援を基盤に地域の民生委員の方々のご協力を仰ぎ高齢者への働きかけに努めている	○	地域の民生委員や施設に関わっている方々のご協力を仰ぎ、地域に貢献出来る事は、協力する
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が、外部評価の意義を理解しており、出来ないところでは、話し合い改善に取り組んでいる	○	グループを作り、話し合い、評価の意義を理解し、改善に努めている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一度の運営推進会議で、意見交換・報告等で交流を計りサービス向上に活かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の疑問点などは、市町村の担当者と連絡をとり、適正な運営を心掛けている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	当施設では、該当する利用者が今のところいない為、実施していない	○	今後、勉強会での議題にし、学ぶ機会を作りたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について今のところ学ぶ機会はないが、事業所内での虐待に関しては、会議等での確認など見過ごすことのない様努めている	○	今後、法案に基づいて資料など取り寄せ、勉強会等学ぶ機会を作り、研修等あれば積極的に参加したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族に十分な説明、理解の基で、契約・解約されている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見も聞き、取り入れる様している	○ 利用者の意見があれば、職員で課題にし、運営に生かしたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月一回、事業所の新聞に掲載したり、家族訪問の際、報告する様努める	○ 毎月、月初めに事業所から、職員手作りで新聞を発行し、家族に発送し、暮らしぶりがわかる様、努めている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議へも、家族代表で出席してもらい、意見交換する場を設けたり、家族訪問時、話をする機会を設け運営に反映させている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	課題が出た場合、会議に出し意見や提案を聞く様にする	○ 課題について、職員で改善出来るものであれば会議で計り、これからの運営に反映させる努力をする
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者が安心して生活出来る様、勤務表を作り職員全員で協力している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当施設は、1ユニットで、移動等はないが離職で職員の交代などある場合、利用者がダメージを受けない様、個々の利用者の状態に合わせて対応している	○ 職員に少しでも長く仕事を続けてもらえる様な環境作りを実現出来るよう努力したい
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等への参加を積極的に推奨しており、研修記録をとり職員会議で報告している	○ 現況以上に、職員がスキルアップ出来る様に、支援出来る環境を確保していきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、北薩地域のグループホーム連絡協議会に入会している	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	施設代表が、職員個々の悩みの相談に応じたり、定期的に親睦会を開いている	○ 職員が思っている事を、発言できる運営者でいられる様、今後も努力したい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の勤務状況・状態を把握し、昇給・賞与等実現	○ 職員の努力や実績に応じ、向上心を持って働けるよう努める
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常の会話の中で、聞きのがす事のない様努め、聞く機会を作り、受け止める努力をしている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時に話し合う機会を、充分もっている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス利 用も含めた対応に努めている	本人が必要としているサービスを見極め、対応を 行っている	○	残存能力を見極め、生活の中で活かせる 様に支援していきたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用す るために、サービスをいきなり開始するのではな く、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染 めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始時に、本人に声かけを行い本人の意 志を尊重して、サービスを行っている	○	家族等と、相談しながらサービスに努め る
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人 から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の今まで過ごした生活環境で得た知識を、活 用出来る場を提供し、共に行っている	○	本人の意志を尊重しながら、毎日を共に 楽しみながら、生活出来る様努力してい く
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく 関係を築いている	本人の今まで過ごした、生活環境で得た知識を活 用出来る場を提供し、共に行っている	○	家族と共に支えていく様努力する
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、 より良い関係が築いていけるように支援している	出来る限り、家族との時間を過ごせるよう、外 出・外泊面会など、家族に働きかけている	○	家族とも連絡を取り、家族と共に支援す る様努める

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の、知人の面会が出来る様な環境作りを 行っている	○	本人が大切にしてきた関係を大事にして いる
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう に努めている	利用者同士が、話し合ったり出来る場を提供して いる	○	日常、利用者同士の会話が出来る状況で ある
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な 関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断 ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も職員が面会などし、利用者・家族との関 わりを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把 握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討 している	本人の希望などを、家族の方などに話しをし、出 来るだけ実現出来るように、対応している	○	本人の意向にそえる様努めている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	本人の希望又は、家族の方に、これまでの生活暦 などを聞き、出来るだけ本人の残存機能を活かせ る様にしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有す る力等の現状を総合的に把握するように努めてい る	出来る事・出来ない事を把握し、出来る事を継続 出来る様、支援している	○	出来る限りのリハビリにも努めている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時など状態の報告を行い、家族の意見や同意を聞いている	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化があった場合は、ケース会議で話し合い状態に応じたサービスを提供出来るようにしている	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過を職員全員で共有し、工夫しながら本人に合ったサービスが提供出来るようスタッフで話し合っている	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族からの要望があれば対応している	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2ヶ月に一度の運営推進会議を実施している	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	担当者との情報交換が円滑に出来る様、体制を整えている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	より良いサービス提供が出来る様、地域包括支援センターに出向き、ケアマネジメントなどの相談をし、協働している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意見・希望を聞き、利用者の主治医を優先している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医の受診をしたり、当施設への定期往診を依頼し、治療・診断に当たっている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常時看護師が勤務し、日常の健康管理をしている。又かかりつけの病院での医師・看護師に相談している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合、病院関係者と情報交換をし、連携を図っている	○	退院後も利用者及び家族が、安心できる環境や施設を提供出来るよう、対応に努めている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時、ターミナルケア及び看取りについての説明を、明細に家族に説明している。又、入所後病状が重度化した場合、家族と再度話し合う機会をもっている		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族に当施設での可能・不可能なサービスを説明し、家族の意向を尊重し医療機関との連携を図っている	○	重度化や終末期に向けての医療機関との連携を図り、往診の依頼、及び家族への協力を得る

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入所前に家族に当施設の見学をしてもらい、住み替えのダメージを最小限に抑えるように対応している	○	当施設に入所するにあたり、ご家族と本人のケアへの情報交換を行い、安心して住めるよう援助する
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを損ねることのないよう対応をし個人情報を外部にもらすことのないよう書面に徹底している	○	職員間での利用者の個人情報漏らすことのないよう申し合わせる
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の意志・意向を尊重し、楽しく生活できる様支援し対応する		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活の流れは決めているが、可能な限り利用者の希望に添えるよう支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人又は家族が望む場合、理容・美容はご家族と店に行けるようにし、通常は本人の希望に応じて適宜散髪をしている		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好や季節の物を取り入れたりして、献立の工夫をしている。又、利用者ができる事は協力してもらっている	○	利用者の状況に応じて、食事形態や量などの工夫をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、 好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的 に楽しめるよう支援している	利用者の嗜好を可能な限り取り入れ、お茶の時間 など楽しく過ごせるよう支援している	○	季節や行事等における、おやつなどの工 夫もしている
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひと りの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ち よく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成しており、トイレ誘導に役 立てており、可能な限りオムツを使用しない生活 を支援している	○	一人一人の排泄パターンを把握し、気持 ちよく排泄できるよう支援していきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず に、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、 入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めているが、本人の希望やタイミン グに合わせて、楽しめるよう支援している	○	本人の意志・体調を考慮した上で、入浴 を楽しめるよう支援していきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じ て、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支 援している	個々の生活習慣のリズムに合わせて、安心して休 息できるよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみ ごと、気晴らしの支援をしている	ドライブ・買物や行事への参加の機会もつくり、 気分転換を図れるよう支援している	○	個々のお手伝い等、できる役割への支援 に心掛けている
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解 しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金 を所持したり使えるように支援している	日常のお金の所持は、紛失やトラブルを避けるた め、施設側が管理している。必要に応じて使える ようにしている		


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、庭でお茶やレクレーションをしたり、戸外への散歩を試み、気晴らしなどしている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	誕生日等、本人が希望する場所へのドライブ・外食等の工夫やご家族との外出への支援もしている		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの希望があれば、本人と取次ぎ、手紙のやりとりは可能な限り支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人の面会や、訪問時居心地よく過ごせるよう、居室の環境整備、及び、お茶など出し工夫している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本は身体拘束をしないケアに努めているが、やむを得ない場合は、家族に詳細を説明し同意をもらい対応している	○	職員間で、身体拘束について再度勉強していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本は鍵をかけないケアであるが、利用者の状況にもより、鍵をかけ安全を図ることもある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容・ (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼 夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配 慮している	利用者の所在や様子は常に把握しつつ、プライバ シーへの配慮も行っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、 一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ組み 合いをしている	注意の必要な物に対するの保管は徹底し、危険な 物は取り除くよう気を付けている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐた めの知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故 防止に取り組んでいる	事故防止に役立つ本やマニュアルを作成し、知識 を学び事故防止に努めている	○	事故等が発生した場合、緊急にミーティ ングを行い注意事項の申し合わせをして いる
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員 が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行ってい る	看護師が中心になり、応急看護に関するビデオや 資料などを参考にし、対応に備えている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより 地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防火訓練をおこなっており、地域の消防 団の協力も得ている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等 に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応 策を話し合っている	施設内で起こりうるリスクについて、入所時家族 と話し合い、対応についても同意を得ている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一日3回のバイタルチェックを看護師が中心に行い、体調の変化・異変については申し送り等で情報交換を行い日誌等にも記録している	○	医療申し送りノートを活用している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が責任者となり薬の管理をし、薬の内容が分かるようファイルしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自然排便が出来る様に、水分・食事・おやつ等考慮し、適度な運動も試みている	○	必要状態に応じて投薬をしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施し、口腔内の清潔に努めている	○	夜間はなるべく入れ歯を外し、洗浄し保管している
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の水分量が分かるよう、水分チェック表に記録している	○	食思低下の利用者に関しては、栄養剤及び果物やゼリーの工夫をし摂取している
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	予防接種の実施、空気洗浄機の設置、手指消毒の利用、手洗い指導などし、感染症に対応している 予防マニュアルも作成している	○	手洗い・うがいに努めている。職員も利用者も毎年インフルエンザ予防接種をしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理は調理責任者が中心となり、調理用具等の衛生管理・保持に努めている。又、食材も常時新鮮な物を取り入れており、安全管理に努めている	○	食材の賞味期限をチェックし、常に新鮮なものを使うように心掛けている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	来訪者が気兼ねなく出入り出来るよう、家庭的な雰囲気作りを心掛けている（プランターの花作り等）	○	利用者を楽しむ家庭菜園作りをしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の生活空間は、利用者が落ち着けるような空間になるように、季節の花、掲示物への工夫をし、くつろげる空間作りを目指している	○	行事等の写真や、利用者の書いたぬり絵などの掲示もしている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ観賞や、個々の会話や遊びをして過ごされている	○	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、ご本人の在宅での状況（使い慣れた物・好みの物）を聞き、少しでも在宅生活時に近い居室空間作りをし、居心地よく過ごせるよう工夫している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気洗浄機の設置や、環境整備や換気を行い、利用者の体調、天候に合わせて温度調整を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が安全に生活できるよう、手すりの設置やバリアフリーにしている	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人一人が安全に生活できるように、各部屋の入口に写真設置をしたり、トイレの場所の明記をしている	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に菜園を作ったり、プランターに花を植えたり、環境作りに努めている	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

項 目		回答	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	②
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	①
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者が、余生をその人らしく毎日楽しく過ごせるように、レクレーション・行事等の工夫など環境作りに取り組んでいます。また利用者の笑顔、家族の感謝の言葉が、スタッフの励みになり、今後も外部からの情報収集・研修会などの参加を通し、スタッフ一同より良い介護を支援出来るよう努力していきたいと思っております。